

項目別特色

項目	特色
内容	1 学習指導要領に示された内容を、児童の発達段階や興味・関心に即してわかりやすく具体化し、身近な生活と関連を図って、日常生活での 実践に結び付けることができる ようにしている。
	2 学習したことが単なる知識の習得に終わることなく、児童自らが学び、自ら考える「生きる力」を養い、 健康なライフスタイルを確立できる ようにしている。
組織 配列 分量	1 各単元の配列は、児童の発達段階と教材の系統性を考慮して、 系統的・体系的に内容構成 されている。
	2 各時間とも「課題」「課題解決のための学習活動」「課題解決のための多様な資料」「まとめ」で構成され、 自主的な課題解決学習に取り組める ようになっている。
	3 各内容の 分量は適切 であり、配分もバランスよく構成している。
工夫	1 “ 習得 ”すべき知識や内容は、単元の冒頭に【つかむ】として位置づけ、そのあとに習得した知識などを“活用”して課題解決するための学習活動を設定し、 習得すべき知識を身につけられる ようにしている。
	2 知識を“活用”する学習活動 として、【学んだことをあてはめよう】(思考)、【学んだことをもとに見つけよう】(判断)、【学んだことをもとにつたえよう】(表現)の、 3パターン を設定し、 思考力・判断力等が育める ようにしている。
	3 紙面構成は、豊富なイラスト、写真、図表、チェック欄、記入欄等が 見やすくレイアウト され、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにしている。
	4 統計資料は最新 のものを取り上げ、正確でかつ読み取りやすくグラフ化している。
	5 発展的な学習内容については、 地震・津波対策、熱中症、自転車安全運転五則 などを取り上げるなど、喫緊かつ重要な問題を取り扱っている。
	6 知識の確実な習得のために、領域の 系統性を配慮 して 振り返り学習 ができるようにしている。
	7 望ましい生活習慣の形成に関する学習の効果を高めるために、 食育に関する内容 を「食育コラム」として各学年で取り扱っている。
	8 言語活動の充実を図る ため、話し合い活動や記述する活動を数多く設けている。
	9 学習意欲を高めるために、体育科の「体ほぐしの運動」や理科、生活科、家庭科、道徳などの 他教科・他領域との関連が図れる ようにしている。
	10 教育の情報化に対応 して、学習内容に関連する調べ学習ができるように随所にホームページアドレスを掲載している。
表現 印刷 製本	1 表紙は、 明るく健康的・開放的 で、保健学習の趣旨にふさわしいものになっている。
	2 バリアフリーの観点からユニバーサルデザインフォント を使用し、また、 色弱の児童に配慮 した色づかいをしている。
	3 文章は発達段階に応じた平易・簡潔な記述で、特におさえたい 基礎的・基本的事項は太字や色文字 で目立たせて、理解しやすくしている。
	4 文章と資料の配置はバランスがとれた ビジュアルな紙面構成 で、各ページを通じてマークや紙面の統一を図り、見やすく、判読しやすい構成になっている。
	5 本文用紙は 書きやすく、消しやすい紙 を使用している。
	6 印刷は鮮明 で見やすい。
	7 製本は平綴じを採用し、堅牢で 2年間の使用に十分耐える ことができる。
	8 表紙、本文とも 再生紙 を使用している。